

天神地区の屋台営業者団体組合員のヒアリング結果一覧

No.	通し番号	助言者	副組合長からの添削指導						組合長の関与を知っていたかどうか。		
			有無	時期	方法	経緯・理由	指導内容	指導を受けての対応	主な変更箇所	有無	内容
1	※福岡市情報公開条例に定める非公開情報と認められる恐れがある 情報については、掲載しておりません。	副組合長	有	計画書作成後	口頭	・副組合長から書類に不備がないか確認してあげると言われ、提出前の確認という意味で、チェックしてもらった。 ・自分の気持ちを文書にするという経験もあまりなく、有識者の方も見る書類のため、きちんと書かなければと思った。	副組合長から「よくできとね。」と言われたが、衛生面(マスク、ビニール手袋の着用)の1か所のみアドバイスもらった。	アドバイスがあった以外の箇所についても、自分で、何回も修正を加えた。	衛生面 (マスク、ビニール手袋の着用)	無	全く知らなかった。 ※当初から、組合長は、選考委員のため関与できないと聞いていた。
2		副組合長	有	計画書作成後	口頭	・組合事務局(事務員)から電話があり、副組合長が書類を見てくれると言われた。 ・アドバイスがもらえるかもしれないと思った。	副組合長から「いいんじゃない。よくできとよ。」とだけ言われた。	さらに自分で書き直した。	なし	無	応募書類は組合が見てくれるとの認識だった ※組合長は選定委員なので、関われないと知っていた。
3		副組合長	有	計画書作成後	口頭	・組合事務局(事務員)から電話があり、書類作成で理解できないことがあれば、副組合長に聞いて下さいと言われた。 ・文書力もなく、周りに聞く人もいなかった。	衛生面や危機管理(流水洗浄、アナフィラキシーショック等)面での文書表現でアドバイスもらった。	インターネットなどで調べて、修正を加えた。	衛生面、危機管理 (流水洗浄、アナフィラキシーショック等)	無	他の組合員からも含め、全く聞いたことはない。 ※組合長とは接触できないと聞いていた。
4		副組合長	有	計画書作成後	添削	・応募している他の組合員等から、副組合長から見てもらえる、という話を聞いた。 ・皆見てもらっているようだし、不安だったから、アドバイスを受けられるならと思った。	言葉の足りない部分や書き方について、赤ペンで修正してもらった。	自分が必要と感じた部分のみ書き直した。	衛生面、危機管理 (消毒後の乾燥、客の苦手なものの確認)	無	組合長の関与については全く聞いたことがない ※組合長とは接点を持ったらだめという話も聞いていた。
5		副組合長	有	計画書作成後	添削	・事前に相談した際は取り合ってくれなかったが、その後副組合長から、内容を確認するから見せてくれと言われた。 ・条例を基に自分で書いたが、何を書いたらよいか分からず、チェックはして欲しかった。	表現について赤ペンで修正してもらった。	添削された部分は修正した。	表現の修正 (お客さん→お客様)	無	全く知らなかった。 ※組合長と接触したらいけないことは知らなかったが、会わなくてよかったと思っている。
6		副組合長			2/10(金)電話 廃業する意向なので、義務でないなら協力はしない。 (辞退の意向について)やれる方法を探っていたので辞退届は未提出だが、はっきり決まったら出す。それまでは市からの案内等も送ってほしい。(候補者として扱ってほしい)		ヒアリング辞退				
7		副組合長			2/9(木)電話→ヒアリングは無し 面接も辞退しており、もう関係ないので勘弁してほしい。		ヒアリング辞退				

No.	通し番号	助言者	組合長(委員)からの添削指導
8		組合長(委員)	2/10(金)電話 ※面接でのヒアリングを拒否 ・組合長から指導を受けたことはない。 ・当初から、組合長は、選考委員のため関与できないと聞いていた。
9		組合長(委員)	2/10(金)電話 ※面接でのヒアリングを拒否 ・組合の理事をしているため、組合長と会ってはいたが、最初の説明会の時に、組合長から関与できないと言われていたことから、計画書の記載について、指導を受けたことはない。 ・不合格になった者に相談したことはある。

No.	通し番号	助言者	ヒアリング内容
10		無	・応募書類は父と二人で作成し、組合長や副組合長から添削・指導を受けたことは全くない。 ・副組合長が書類を見るという話は聞いたが、店が離れていることもあり、普段からやり取りもなく、見せに行く気は全くなかった。
11		無	・応募書類について、組合長や副組合長から添削・指導を受けたことは全くない。電話も話もしていない。書き方の形式的な部分は、知り合いからアドバイスを受けた。 ・普段から組合と距離を置いており、組合長や副組合長が指導添削をしていることは、聞いたこともなかった。